



オートエクゼ ブレーキライン

取付・取扱説明書

登録No.	
部品番号	M D E 5 4 0
車名 車種	マツダ デミオ
型式(グレード)	DE5FS (スポルト、15C) DE3FS・DE3AS (13C、13S、13F)
備考	
取付上の注意	当マニュアルに従って、正しく取り付けて下さい。

～ お客様へ ～

- ※ 取付作業を始める前に必ず取扱説明書を最後までお読み下さい。
- ※ 本製品は重要保安部品です。取付は認証工場などで行い定期的に有資格者による点検を受けて下さい。
- ※ 本書は製品保証書とともに、製品装着後も大切に保管して下さい。
- ※ 本製品は各車種ごとの専用設計となっております。上記適合車種以外への取付けや加工は絶対に行わないで下さい。

⚠️【重要】取付け前に必ずお読みください！

本製品は急激な曲がりに弱いステンレスメッシュPTFEホースの素材特性を十分考慮し、純正ブレーキホースとは異なる長さ、取回し、取付け方法で製作されています。取扱いを誤るとブレーキラインの曲がりや長さが窮屈となり、最悪の場合ラインが折損し、制動力が得られず重大な事故につながります。下記の注意に従って正しく装着していただきますようお願いいたします。

⚠️ バンジョーアダプターや中間取付け部の方向、角度は絶対に間違えないでください。

取付・取扱説明書をよくお読みいただき、本書の指示に従って正しく装着してください。取付け方法を誤るとブレーキラインに負荷がかかり、最悪の場合ラインが折損し、重大な事故につながります。

⚠️ 純正、または当社製サスペンション装着車以外には絶対に取付けしないでください。

純正、または当社製以外の後付けサスペンション（車高調キットなど）と同時に装着した場合、ブレーキラインの想定可動範囲を超えたり、ライン固定用ブラケットの位置が異なるケースがあります。結果、ブレーキラインに負荷がかかり、最悪の場合ラインが折損し、重大な事故につながります。

⚠️ 取付け上の注意

- ◇ 銅ワッシャー、ウェイブクリップなどの付属品は、必ず製品付属のものをご使用下さい。
- ◇ フレアパイプの先端部が図1の様に変形している場合には、図2の様に正常な状態に修正、または新品に交換して下さい。そのまま装着しますと、フレアナットの破損やオイル漏れの原因となります。

図1 変形

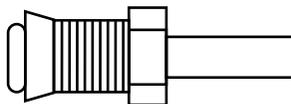
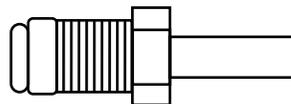


図2 正常



- ◇ エア抜き作業の手順は車両によって異なります。マツダ(株)発行の整備書に従い正しく行って下さい。特にABS、ブレーキアシスト機構装着車は専用の設備が必要な場合がございます。
- ◇ エア抜き作業終了後、エンジンを始動しブレーキペダルを踏み込んだ状態で、オイルの漏れが無いか確認して下さい。ホイール装着後、ステアリングを左右に切り、ブレーキラインがタイヤに干渉しないか確認して下さい。
- ◇ タイヤ/ホイール装着後、ステアリングを左右に切り、ブレーキラインがタイヤ/ホイール、および周辺パーツに干渉しないか確認して下さい。

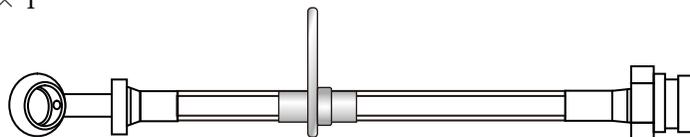
⚠️ 装着後の取り扱いについて

- ◇ 法律で定められている、日常点検・定期点検を必ず行って下さい。
- ◇ 走行中にブレーキの踏みしろが大きくなったり、ブレーキ警告灯が点灯した場合には、何らかの異常が考えられます。直ちに安全な場所に停車して修理工場などで点検を受けてください。そのまま走行を続けると、車両の破損や事故につながる恐れがあります。
- ◇ 本製品は消耗品です。定期的に変換して下さい。使用状況にもよりますが、交換推奨時期は3年です。
- ◇ 海水や凍結防止剤は錆の原因となります。走行後はスチーム洗浄などを行って下さい。

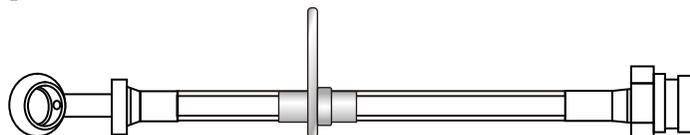
構成部品

取り付けの前に破損・欠品などが無いか確認して下さい。

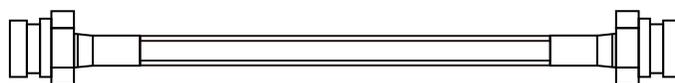
① FRONT RIGHT × 1



② FRONT LEFT × 1



③ REAR RIGHT × 1



④ REAR LEFT × 1



⑤ 銅ワッシャー × 4

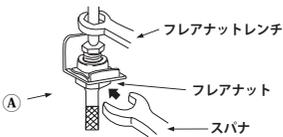
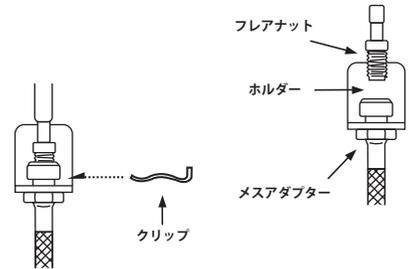


1. フロントブレーキホースの取り付け



規定トルクでフレアナットを締付けてもオイルにじみ・漏れなどが発生する場合にはフレアパイプ先端部分の変形が考えられます。正常にシールするように、フレアナットの増し締め、またはフレアパイプの修正、交換を行って下さい。

- * メス側アダプターをブレーキラインのねじれに注意しながらボディ側ブレーキホースホルダーにセットし、フレアナットを仮締めます。
- * 純正のウェイブクリップで固定し、仮締めしたフレアナットを1.5~2.0kgf・mのトルクで締め付けます。

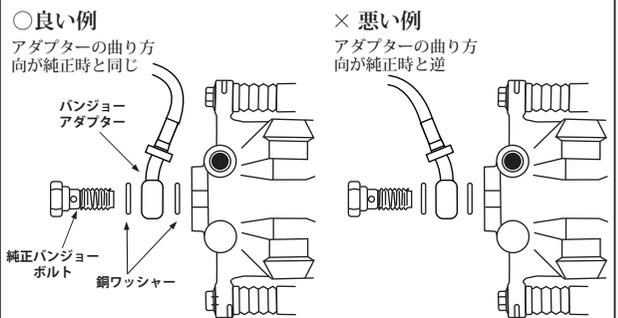


◀左図のようにフレアナットは、必ずフレアナットレンチ(専用工具)を使用しアダプター①を固定しながら締め付けて下さい。

- * 右図のように、バンジョーアダプターの曲がり方向が純正品と同様にキャリパー側に向くように、付属の銅ワッシャーと純正バンジョーボルトを使用し仮締めします。

■銅ワッシャーは、必ず付属している新品を使用してください。

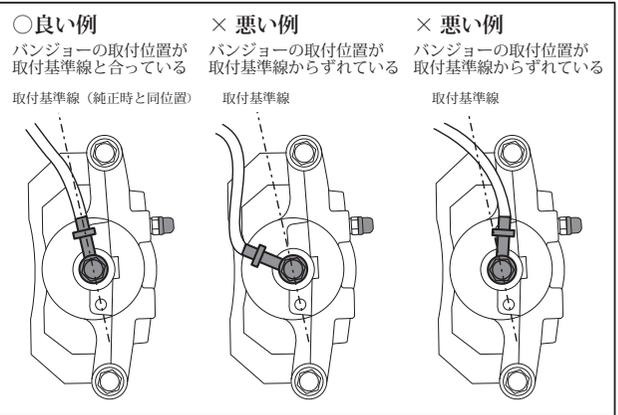
⚠バンジョーアダプターの取付け向きを誤ると、ブレーキラインの曲がり方が窮屈となり、最悪の場合ブレーキラインが折損し、制動力が得られず重大な事故につながる恐れがあります。



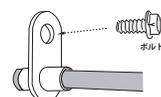
- * 仮締めしたバンジョーボルトを3.0kgf・mのトルクで締め付けます。右図の様に純正と同じ角度で締め付けて下さい。

⚠バンジョーアダプターの取付け方向は、純正時と完全に同じ角度になるように取り付けを行ってください。

少しでも異なった角度に取付けをしてしまうと、ブレーキラインの曲がり方が窮屈となり、最悪の場合ブレーキラインが折損し、制動力が得られず重大な事故につながる恐れがあります。



- * 中間留めをセットし、純正ボルトを使用して固定します。



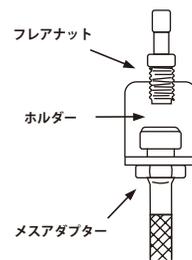
2.リアブレーキホースの取り付け



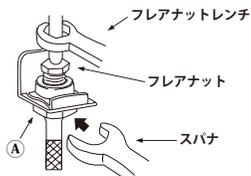
規定トルクでフレアナットを締め付けてもオイルにじみ・漏れ等が発生する場合にはフレアパイプ先端部分の変形が考えられます。正常にシールするように、フレアナットの増し締め又はフレアパイプの修正、交換を行って下さい。



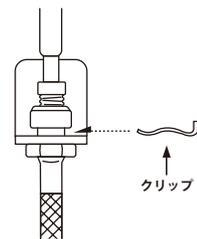
* ブレーキラインのねじれに注意しながらブレーキホースホルダーにセットし、フレアナットを仮締めします。



* 純正のウェイブクリップで固定し、仮締めしたフレアナットを1.5~2.0kgf・mのトルクで締め付けます。



◀左図のようにフレアナットは、必ずフレアナットレンチ(専用工具)を使用しアダプター①を固定しながら締め付けて下さい。



装着後の取り扱いについて

◇ 日常点検について

法律で定められている日常点検を励行して下さい。

- ・ブレーキペダルの踏みしろ
- ・ブレーキリザーバータンクの液量
- ・ブレーキの効き
(ブレーキ関係抜粋)

◇ 交換推奨時期

3年ごとの交換を推奨いたします。但し、点検時に異常を発見した場合には速やかに交換して下さい。

◇ メンテナンス

ブレーキフルードの量、汚れ、漏れ等を定期的に点検して下さい。

ブレーキフルードの交換推奨時期は2年毎です。(DOT5を除く)

凍結防止剤が散布された場所を走行された場合には、必ず洗浄をして下さい。

◇ ブレーキ警告灯

走行中に点灯した場合、ブレーキフルードの残量が極端に減少したことを示しますので、直ちに走行をやめ安全な場所に停止し、ブレーキフルードの残量、漏れを確認して下さい。

お願い

- オートエクゼブレーキラインは用途に合わせた消耗品です。日常点検を行い、フルード漏れや取付け部の緩み及びワッシャーの劣化、損傷が発生した場合には、そのまま走行せずに新品と交換して下さい。
- 一般の条件において使用された場合の経年変化による外傷、機能上のクレームについては応じかねますので予めご了承下さい。
- レース・ラリー等の競技で使用した場合、取付上の不備、日常点検を怠り発生した破損事故等については当社は一切の責任を負いません。

ご不明な点がございましたら、下記までお問い合わせ下さい。



株式会社オートエクゼ

〒104-0054 東京都中央区勝どき4-6-1

TEL 03-3531-8151/FAX 03-3531-8152

URL : <http://www.autoexe.co.jp>